

外 国 語

| | |
|----|----------------------------------|
| 1年 | English Commnication I (会話・発表重視) |
| 1年 | 英語コミュニケーション I (読解・文法重視) |
| 1年 | 英語コミュニケーション I |
| 1年 | 論理・表現 I |
| 2年 | 英語コミュニケーション II |
| 2年 | 論理・表現 II |
| 2年 | higashino special (HEIM & HEOM) |
| 2年 | 多文化理解 |
| 3年 | 英語コミュニケーション III |
| 3年 | 論理・表現 III |
| 3年 | 英語演習 |
| 3年 | higashino special (HEIM & HEOM) |
| 3年 | 時事英語 |
| 3年 | 学び直しの英語 |
| 3年 | 英語入試対策 |

2025年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|-----------------|--|---|--------------------------------------|---|-----|---|
| 1年生 特進コースI&Sクラス | | 外国語 | English Communication I (会話・発表重視) | 必修 | 4単位 | 井上 直美, Jessica Allen Sasser Jeremy, Virginia Cordero Manoba |
| 教科書 | 開隆堂「Ambition English Communication I」 | | 副教材等 | 旺文社「英単語ターゲット1200改訂版」 いづな「英文法・語法 Engage 3rd Edition」 | | |
| 授業のねらい | ①最低限の単語や熟語と文法および基本的な英文の構造を学習する。 ②細かく構造分析をしなくても英文が読み進められるようになる。 ③全文を読んだ後、文章全体の流れや要旨を英語で説明できるようにする。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | ①復習を大事にすること。授業後に復習しないと英語は伸びません。 ②復習は音源を使って行います。読み込んだ文章を多聴、音読しましょう。 ※4～5月にかけてこれまでの学習の復習を行う時間を設けます。 | | | | | |
| 評価方法 | 年4回の定期試験、及び単語テストなどの日常の小テストやプレゼンテーション、外国人の先生からの課題等を総合的に加味して評価をする。 | | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 期末 | 中学校の復習 | | 中学レベルの長文をSVを中心に文構造を取りながら「正しく」読めるようになることを目標とする。 | | |
| | | L1「For Better Communication」 基本5文型／不定詞／助動詞①(時制)／動名詞 | | 自分の気持ちや思いを相手に伝えるためのヒントや考え方を学習する。 | | |
| 2 学 期 | 中間 | L2「Want a Pet? How about a Capybara?」 助動詞②(可能・能力・許可)／S+V+O+動詞の原形／It is ~ (for...) L3「Grace Darling」 関係代名詞／分詞の形容詞的用法 ／付帯状況のwith／仮目的語のit | | カピバラを題材にした対話を通して、自然環境への興味・関心を高める。 ある女性の活躍について読みながら、意思決定の大切さを学ぶ。 | | |
| | 期末 | L4「Soccer and Foreign Languages」 現在完了／過去完了／現在完了進行形／関係代名詞の非制限用法 L5「Raising Awareness of Disadvantaged People」 助動詞+受け身／関係副詞／S+V(=be動詞以外の動詞)+C(=分詞) | | スポーツの世界で活躍するためには練習のほかにどのような要素が必要なのか考える。 人々が幸福に生きるための考え方、そして私たちができることは何かを考える。 | | |
| 3 学 期 | 学年末 | L6「Problems Behind Self-Driving Cars」 S+V+O+不定詞／仮定法過去／助動詞③(推量) L7「An Inspiring Figure in Modern Japan」 倒置／S+seem+不定詞／It seems+that節／無生物主語 | | AIが行う自動車の自動運転の可能性について、論理的に考える。 南方熊楠のエピソードを通して、キャリアを考えるヒントや環境保護への意識を高める。 | | |

2025年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|-----------------|--|---|----------------------------|--|-----|---------------------------|
| 1年生 特進コースI&Sクラス | | 外国語 | 英語コミュニケーション I (読解・文法重視) | 必修 | 4単位 | 陳野 忠, Michael Noah Tuttle |
| 教科書 | 開隆堂「Ambition English Communication I」 | | 副教材等 | 旺文社「英単語ターゲット1200改訂版」 いづな「英文法・語法 Engage 3rd Edition」 | | |
| 授業のねらい | ① 単語・熟語、および文法・構文の学習を通じ、英文読解の基礎力を身に着ける。 ② 英文読解を通じて、文章の背景知識を身に着け、教養を深める足掛かりとする。 ③ 授業内のペアワークや音源を用いた復習を通じて、英文の音読を習慣化する。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | ① 中学校までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には全力で取り組むこと。 ② 英文をただ「見る」だけで終えず、「声に出し」「手を動かし」ながら、学習に励むこと。 ③ 遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、その「埋め合わせ」を必ず行うこと。 | | | | | |
| 評価方法 | 年4回の定期考査、授業内の小テスト、学期末のノートチェック、授業態度などで総合的に評価する。 | | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 期末 | 中学校の復習 | | 中学レベルの長文をSVを中心に文構造を取りながら「正しく」読めるようになることを目標とする。 | | |
| | | L1「For Better Communication」 基本5文型／不定詞／助動詞①(時制)／動名詞 | | 自分の気持ちや思いを相手に伝えるためのヒントや考え方を学習する。 | | |
| 2 学 期 | 中間 | L2「Want a Pet? How about a Capybara?」 助動詞②(可能・能力・許可)／S+V+O+動詞の原形／It is ~ (for...) L3「Grace Darling」 関係代名詞／分詞の形容詞的用法 付帯状況のwith／仮目的語のit | | カピバラを題材にした対話を通して、自然環境への興味・関心を高める。 ある女性の活躍について読みながら、意思決定の大切さを学ぶ。 | | |
| | 期末 | L4「Soccer and Foreign Languages」 現在完了／過去完了／現在完了進行形／関係代名詞の非制限用法 L5「Raising Awareness of Disadvantaged People」 助動詞+受け身／関係副詞／S+V(=be動詞以外の動詞)+C(=分詞) | | スポーツの世界で活躍するためには練習のほかどのような要素が必要なのか考える。 人々が幸福に生きるための考え方、そして私たちができることは何かを考える。 | | |
| 3 学 期 | 学年末 | L6「Problems Behind Self-Driving Cars」 S+V+O+不定詞／仮定法過去／助動詞③(推量) L7「An Inspiring Figure in Modern Japan」 倒置／S+seem+不定詞／It seems+that節／無生物主語 | | AIが行う自動車の自動運転の可能性について、論理的に考える。 南方熊楠のエピソードを通して、キャリアを考えるヒントや環境保護への意識を高める。 | | |

2025年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|---------------|--|--|---------------|--|-----|---|
| 1年生 進学コースAクラス | | 外国語 | 英語コミュニケーション I | 必修 | 4単位 | 井上 直美, 高山 知大, 山田 祐加 Virginia Cordero Manoba, Jessica Allen |
| 教科書 | 開隆堂 「APPLAUSE I ENGLISH COMMUNICARION」 | | 副教材等 | 開隆堂「APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATION WORKBOOK」 桐原書店「データベース3300 基本英単語・熟語」 桐原書店「データベース3300準拠 書いて覚える英単語ノート」 | | |
| 授業のねらい | ①日常的・社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて伝えることができること。 ②聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて話して伝えることができる。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | 言語や文化についての幅広い知識や教養を身に付け、個人の能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えること。 | | | | | |
| 評価方法 | 年4回(1学期期末、2学期中間・期末、3学期学年末)行われる定期試験、授業内で行う小テスト、授業態度等を総合的に評価する。また、ネイティブ教員が週1時間の授業(OC)の取り組み、テスト点なども加味して評価をつける。 | | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 期末 | Lesson 1 The Amazing Scenery ※4～5月にかけてこれまでの学習の復習を行う時間を設けます。 | | 自然の大切さや環境の保全に寄与する態度を養う。 | | |
| | | Lesson 2 The Mysterious History of Chocolate | | 英語の構文(SV SVC SVO SVOO SVOC) チョコレートの歴史から世界と日本の食文化にふれることで幅広い知識を身につけ、真理を求める態度を養う。 | | |
| | | Lesson 3 The Secrets of Top Athletes | | 英語の構文[SVO (that節)], [比較] アメリカのスポーツに対する考え方にふれ理解を深める。 | | |
| | | Lesson 4 Evolving Airplanes | | 現在完了形, 現在完了進行形, 過去完了形 航空機の歴史や航空機の発展を支える環境にふれることで、幅広い知識と教養を身に付ける。 | | |
| | | | | 助動詞、受動態、助動詞+受動態 | | |
| 2 学 期 | 中間 | Lesson 5 The Symbol of Peace | | 他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。 | | |
| | | Lesson 6 Serendipity | | 動名詞、不定詞、形式主語 ふとした偶然をきっかけに予想外のものを見出す「セレンディピティ」についてふれる | | |
| | 期末 | Lesson 7 The Secrets Hidden in Vermeer's Works | | 分詞の後置修飾、知覚動詞、使役動詞 フェルメールの作品が多くの人を魅了している秘密にふれる。 | | |
| | | Lesson 8 Endangered Species in the World | | 関係代名詞(主格)、関係代名詞(目的格)、関係代名詞(所有格) 絶滅の危機に瀕している野生動物についての現状にふれる。 前置詞+関係代名詞、関係副詞、関係詞の非制限用法 | | |
| 3 学 期 | 学年末 | Lesson 9 The Dream of Special Makeup | | 世界の特殊メイクアップアーティストの生き方や考え方にふれる。 条件を表す副詞節、仮定法過去 | | |
| | | Lesson 10 Purifying Powder | | 水の大切さを痛感したある日本人が困っている途上国を救うための行動についてふれる。 | | |
| | | Reading tupera tupera | | 関係代名詞what、強調構文、分詞構文、SVOO(how to ~) 大人の間でも絵本の人気がある理由や、最も好きな絵本などについて 書かれた内容について、書き手の意図、概要や要点を捉える。 | | |
| | | | | | | |

2025年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|-----------------|--|---|---------|---|-----|------|
| 1年生 特進コースI&Sクラス | | 外国語 | 論理・表現 I | 必修 | 2単位 | 陳野 忠 |
| 教科書 | 啓林館 「Vision Quest English Logic and Expression I Advanced」 | | 副教材等 | 旺文社 「英単語ターゲット1200改訂版」 いいずな 「英文法・語法 Engage 3rd Edition」 | | |
| 授業のねらい | ① 教科書の英文の暗記に終始せず、多様な英文を作る語彙力と表現力を身に着ける。 ② 実際に使われる場面をイメージし、論理的に英文を組み立てる力を身に着ける。 ③ 授業内のペアワークや音源を用いた復習を通じて、英文の音読を習慣化する。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | ① 中学校までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には全力で取り組むこと。 ② 英文をただ「見る」だけで終えず、「声に出し」「手を動かし」ながら、学習に励むこと。 ③ 遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、その「埋め合わせ」を必ず行うこと。 | | | | | |
| 評価方法 | 年4回の定期考査、授業内の小テスト、学期末のノートチェック、授業態度などで総合的に評価する。 | | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 期末 | 中学校の復習 | | 現在・過去・未来表現 | | |
| | | ※並行してLesson1,2も進めていく | | 完了形・進行形 | | |
| 2 学 期 | 中間 | Lesson3 I'm planning a day trip this weekend. | | used to / would・助動詞+have+過去分詞 | | |
| | | Lesson4 Have you ever tried it before? | | 第4文型 / 第5文型 | | |
| 3 学 期 | 期末 | Lesson5 What do you want to do after high school? | | ・激励する・励ます / 計画する・予定する | | |
| | | Lesson6 Did you hear about the new shop? | | 【時制】 | | |
| 1 学 期 | 中間 | Lesson7 I'm happy to have you with us. | | ・経験を尋ねる / 初めての経験を述べる | | |
| | | Lesson8 What sport do you like playing? | | 【完了形】 | | |
| 2 学 期 | 期末 | Lesson9 Digital media has come a long way. | | ・許可を求める・依頼する / 義務・必要を表す / 回想する | | |
| | | Lesson10 That's why I decided to go back. | | 【助動詞】 | | |
| 3 学 期 | 学年末 | Lesson11 Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones? | | ・原因・影響を表す / 喜び・驚きを表す | | |
| | | Lesson12 If I were you, I'd see it as a positive. | | 【受動態】 | | |
| 1 学 期 | 期末 | Lesson13 I'm happy to have you with us. | | ・感謝する / 謝罪する / 弁解する | | |
| | | Lesson14 What sport do you like playing? | | 【不定詞】 | | |
| 2 学 期 | 中間 | Lesson15 Digital media has come a long way. | | ・誘う・申し出る / 推薦する | | |
| | | Lesson16 That's why I decided to go back. | | 【動名詞】 | | |
| 3 学 期 | 学年末 | Lesson17 Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones? | | ・描写する / 判断の根拠を述べる | | |
| | | Lesson18 If I were you, I'd see it as a positive. | | 【分詞】 | | |
| 1 学 期 | 期末 | Lesson19 That's why I decided to go back. | | ・定義する / 言い換える / 経緯を説明する | | |
| | | Lesson20 Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones? | | 【関係詞】 | | |
| 2 学 期 | 中間 | Lesson21 I'm happy to have you with us. | | ・提案する / 称賛する | | |
| | | Lesson22 What sport do you like playing? | | 【比較】 | | |
| 3 学 期 | 学年末 | Lesson23 Digital media has come a long way. | | ・助言を求める・助言する / 願望を表す | | |
| | | Lesson24 That's why I decided to go back. | | 【仮定法】 | | |

2025年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|---------------|--|-------------------------------|---------|---|-----|--------------------------|
| 1年生 進学コースAクラス | | 外国語 | 論理・表現 I | 必修 | 2単位 | 陳野 忠、関 京太 山田 祐加、高山 知大 |
| 教科書 | 啓林館「Vision Quest English Logic and Expression I Standard」 | | 副教材等 | 啓林館「Vision Quest English Logic and Expression I Standard Workbook」 | | |
| 授業のねらい | 言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | ①コミュニケーションへの関心・意欲・態度を高める。 ②身近なことを話題にしたり書いたりして、考えを適切に伝える。 ③言語の運用に関する基礎的な知識を身につけるとともに、背景にある異文化への理解を深める。 | | | | | |
| 評価方法 | 年4回(1学期期末、2学期中間・期末、3学期学年末)行われる定期試験、授業内で行う小テスト、授業態度を総合的に評価する。 | | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 期 末 | 既習範囲の総復習 | | 中学校で習った内容を復習する。 | | |
| | | Lesson 1.2 (文の種類/文型と動詞) | | クラブ活動をクラスに紹介することができる。 文化祭についてパートナーと話し合うことができる。 | | |
| 2 学 期 | 中 間 | Lesson 3.4 (時制/完了形) | | 旅行の経験をクラスに話すことができる。 スポーツや音楽の経験をパートナーに伝えることができる。 | | |
| | 期 末 | Lesson 5.6.7 (助動詞/受動態/不定詞) | | パートナーに将来の夢を語るすることができる。 買い物について質問したり、答えたりすることができる。 贈り物の詳細をパートナーに話すことができる。 | | |
| 3 学 期 | 学 年 末 | Lesson 8.9.10 (動名詞/分詞/関係詞) | | スポーツをすることの利点について発表することができる。 自分自身や性格について発表することができる。 日本の文化や日本人たちについて発表することができる。 | | |

2025年度 シラバス

| 対象 | 教科 | 科目名 | 単位 | 担当者 |
|---------------|--|---|---|--|
| 2年生 特進コースIクラス | 外国語 | 英語コミュニケーションⅡ | 必修 4単位 | 宮澤 一輔 Virginia Cordero Manoba Sasser Jeremy, Jessica Allen |
| 教科書 | 増進堂「FLEX ENGLISH COMMUNICATION Ⅱ」 | | 副教材等 | アルク「ユメタン2」 |
| 授業のねらい | ①文法に基づいて正しく英文を読む習慣を身に着ける。 ②新出語を中心に語彙を増やし、英文を通じて物の見方や考え方を習得する。 ③文章の流れや要旨を英語で説明できるようにする。 | | | |
| 学習上の留意点 | ①音読を中心とした復習の習慣を身につけること。 ②取り組むべき課題、宿題などは必ず期限内に取り組み提出すること。 ③各自で課題を見つけ、積極的に取り組むこと。 | | | |
| 評価方法 | 定期試験、及び日常の小テストを総合的に加味して評価をする。また、ネイティブ教員によるオーストラリアコミュニケーションの授業での取り組み、提出物、テストなども加味して総合的に評価する。 | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | 学習目標 | |
| 1 学 期 | 期末 | 前年度の復習 | 読解に必要な知識と技術を復習し、今後のLessonに向けて取り組みがしやすいようにする。 | |
| | | Lesson1 Anime Pilgrimages | 「アニメ聖地巡礼」の内容を理解し、本文内の表現を用いて英語で表現できるようにする。 | |
| | | Lesson2 Iwaya Keisuke and the Pursuit of Dreams | 「ふうせん宇宙撮影」の内容を理解し、本文内の表現を用いて英語で表現できるようにする。 | |
| 2 学 期 | 中間 | Lesson3 The Surprising History of Salt | 「塩の歴史」の内容を理解し、本文内の表現を用いて英語で表現できるようにする。 | |
| | | Lesson4 A Future World, with or without, Sea Turtles | 「ウミガメ」についての生態と内容を理解し、本文内の表現を用いて英語で表現できるようにする。 | |
| | 期末 | Lesson5 The Psychology of Waiting in Line | 「待ち列の心理」の内容を理解し、本文内の表現を用いて英語で表現できるようにする。 | |
| | | Lesson6 The Human Library | 「人間図書館」の内容を理解し、本文内の表現を用いて英語で表現できるようにする。 | |
| 3 学 期 | 学年末 | Lesson7 More Than Just Shelters | 「シェルター以上のもの」の内容を理解し、本文の表現を用いて英語で表現できるようにする。 | |

2025年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | 担当者 |
|---------------|--|--|---|--|------|
| 2年生 特進コースSクラス | | 外国語 | 英語コミュニケーションⅡ | 必修 4単位 | 関 京太 |
| 教科書 | 数研出版「BLUE MARBLE English CommunicationⅡ」 | | 副教材等 | 旺文社「英単語ターゲット1400 5訂版」 いいずな「英文法・語法 Engage 3rd Edition」 | |
| 授業のねらい | ① 単語・熟語、文法、英語構文を正しく理解し、日本語を介さず直読直解ができるようになること。 ② 英文読解を通じて、文章の背景知識を身に付け、教養を深める。 ③ 授業内での音読活動を通じて英文の音読を習慣化する。 | | | | |
| 学習上の留意点 | ① 英語の得意、不得意に関わらず日々の授業・復習(特に復習)に全力で取り組むこと。 ② 復習の際には本文の音読を必ず少なくとも5周はすること。 ③ 遅刻・欠席をできるだけしないこと。仮に遅刻・欠席をした場合、必ず誰かにノートを写させてもらうこと。 | | | | |
| 評価方法 | 定期考査、ターゲット1400の単語テスト、授業内の小テスト、授業態度などで総合的に評価する。 | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 期 末 | Lesson1 【社会・人生】 Leadership in Modern Times | ・現代社会に求められるリーダーシップについて考える 【関係代名詞の継続用法の理解】【強調構文の理解】 | | |
| | | Lesson2 【地理・文化】 The Diversity of Traditional Houses ※上記の他に前年度の復習を行う。 | ・世界の伝統家屋の特徴と、現在の役割について考える 【ディスコースマーカ―の確認】【数の認識Some-Others等の理解】 | | |
| | | Lesson3 【福祉・科学】 Improving Society with Avatar Robots | ・社会の孤独を解消する、「アバターロボット」について考える 【受動態の進行形の理解】【仮定法 as if + Vp.の理解】 | | |
| | | Lesson4 【環境・社会】 Approaches to Food Waste | ・フードロスの現状と、私たちにできる取り組みを考える 【倍数表現の理解】【完了動名詞の理解】 | | |
| 2 学 期 | 中 間 | Lesson5 【動物・福祉】 Animals as Indispensable Partners | ・私たちのよりよい暮らしと社会をサポートする動物について学ぶ 【分詞構文の理解】【分詞の後置修飾の理解】 | | |
| | 期 末 | Lesson6 【言語・文学】 An Irish Poet on a Mission | ・翻訳で日本文学の美しさを世界に広める詩人について学ぶ 【関係副詞の理解】【複合関係詞の理解】 | | |
| 3 学 期 | 学 年 末 | Lesson7 【社会・人権】 Be Free from Gender Bias | ・身近にひそむ男性／女性への偏見について考える 【to不定詞の理解】【関係副詞の理解】 | | |
| | | Lesson8 【国際・平和】 The Diminutive Giant Who Fought for Refugees | ・難民保護に尽力した、緒方貞子の信念について考える 【義務・必要性を示す】【仮定法の理解】 | | |
| 3 学 期 | 学 年 末 | Lesson9 【環境・科学】 Tackling Global Warming | ・ジオエンジニアリングの利点・欠点を考える 【懸念・問題点を示す】 | | |
| | | Lesson10 【人生・心理】 Keys to Finding Happiness | ・「幸せ」を自分で切り開く方法を科学的に考える 【つながり・影響を示す】 | | |

2025年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|---------------|--|--|---|---|-----|---|
| 2年生 進学コースAクラス | | 外国語 | 英語コミュニケーションⅡ | 必修 | 4単位 | 宮澤 一輔, 手塚 政世, 高坂 直美 Michael Noah Tuttle, Sasser Jeremy Virginia Cordero Manoba |
| 教科書 | 開隆堂 「APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATION II」 | | 副教材等 | 開隆堂「APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATION II WORKBOOK」 桐原書店「データベース3300 基本英単語・熟語」 桐原書店「データベース3300準拠 書いて覚える英単語ノート」 | | |
| 授業のねらい | 読む・書く・聞く・話すの4技能を総合的に伸ばすための素地を作る。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | 復習する習慣を付けること。また、授業ではグループ学習など、アクティブラーニングを実践するため、積極的・主体的に授業に参加してください。英検合格に向け、毎時間5分程度の英検対策を行う。 | | | | | |
| 評価方法 | 年5回の定期試験、実力試験、及び単語テストなどの日常の小テストを総合的に加味して評価をする。 | | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 期末 | Lesson 1 | 文型(SV/SVO/SVC/SVO(If節)/SVC(分詞) | 文型(SV/SVO/SVC/SVO(If節)/SVC(分詞) | | |
| | | What is Attractive in Okinawa? | 沖縄の魅力や自分の好きな場所について話す | 沖縄の魅力や自分の好きな場所について話す | | |
| | | Lesson 2 | 文型(SVOO/SVOO(If節)/SVOO(that節) | 文型(SVOO/SVOO(If節)/SVOO(that節) | | |
| | | What have the Japanese People Been Eating? ※上記の他に前年度の復習を行う。 | 日本食について知り、話すことができる | 日本食について知り、話すことができる | | |
| 2 学 期 | 中間 | Lesson 3 | 現在完了形、現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形 | 現在完了形、現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形 | | |
| | | High School Students' Volunteer Activities | 未来進行形 | 未来進行形 | | |
| | 期末 | Lesson 4 | 不定詞、形式主語it、S find it ~that節、S think it ~to不定詞 | 不定詞、形式主語it、S find it ~that節、S think it ~to不定詞 | | |
| | | Happy Time in Finland | あなたが訪れてみたい国について話す | あなたが訪れてみたい国について話す | | |
| 3 学 期 | 中間 | Lesson 5 | 推量を表す助動詞、助動詞+have+過去分詞、would like to~ | 推量を表す助動詞、助動詞+have+過去分詞、would like to~ | | |
| | | The Relay of Ahmed's Life | would rather~(than...) | would rather~(than...) | | |
| | 期末 | Lesson 6 | SVOC、使役動詞、help+目的語+動詞の原形、知覚動詞 | SVOC、使役動詞、help+目的語+動詞の原形、知覚動詞 | | |
| | | Artificail Intelligence | AIについて話す | AIについて話す | | |
| 3 学 期 | 学年末 | Lesson 7 | 比較級+than+any other~、~times+比較級+than... | 比較級+than+any other~、~times+比較級+than... | | |
| | | Bando Is My Second Hometown | one of +the +最上級、完了不定詞、S+seem to +V | one of +the +最上級、完了不定詞、S+seem to +V | | |
| | | Lesson 8 | 受動態の分詞構文、連続した出来事を表す分詞構文 | 受動態の分詞構文、連続した出来事を表す分詞構文 | | |
| 3 学 期 | 学年末 | The Great Discovery Out of an Accident | 完了形の分詞構文、付帯状況のwith | 完了形の分詞構文、付帯状況のwith | | |
| | | Lesson 9 | 関係代名詞、関係代名詞(非制限用法)、関係副詞、 | 関係代名詞、関係代名詞(非制限用法)、関係副詞、 | | |
| | | Green Land Plan | 関係副詞(非制限用法) | 関係副詞(非制限用法) | | |
| 3 学 期 | 学年末 | Lesson 10 | 仮定法過去、仮定法過去完了、ifを用いない仮定法 | 仮定法過去、仮定法過去完了、ifを用いない仮定法 | | |
| | | The Mystery of Colors | no matter +疑問詞、複合関係詞 | no matter +疑問詞、複合関係詞 | | |

2025年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 | |
|---------------|--|------------------|-----------------|---------------------|-----------------|------|--|
| 2年生 特進コースIクラス | | 外国語 | 論理・表現Ⅱ | 必修 | 2単位 | 関 京太 | |
| 教科書 | 増進堂 「MAINSTREAM English Logic and ExpressionⅡ」 | | 副教材等 | アルク「ユメタン2」 | | | |
| 授業のねらい | 高校1年次で習った英文法を更にブラッシュアップさせるために基礎事項を今一度確認・理解をし、それだけではなく「アウトプット」できるようにする。また、自由英作文にも数多く挑戦する。 | | | | | | |
| 学習上の留意点 | どのような英文法を使って英文を書き進めるのか、の「横の軸」と、どのような言い回しをするのか(どういふ単語を使うのか)、の「縦の軸」を意識しながら英文が書けるようになって欲しい。 | | | | | | |
| 評価方法 | 年4回の定期試験と日常の取り組み。 | | | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | | 学習目標 | | | |
| 1 学 期 | 期 末 | Lesson.1 | 文の要素 | | 文の要素 | | |
| | | Lesson.2 | 現在形/過去形・進行形/完了形 | | 現在形/過去形・進行形/完了形 | | |
| | | ※上記の他に前年度の復習を行う。 | | ※中間考査に代わる小テストを実施予定。 | | | |
| | | Lesson.3 | 仮定法 | | 仮定法 | | |
| | | Lesson.4 | SVOC | | SVOC | | |
| | | Lesson.5 | 受け身 | | 受け身 | | |
| 2 学 期 | 中 間 | Lesson.6 | 比較 | | 比較 | | |
| | | Lesson.7 | 動名詞 | | 動名詞 | | |
| | 期 末 | Lesson.8 | 不定詞 | | 不定詞 | | |
| | | Lesson.9 | 分詞・分詞構文 | | 分詞・分詞構文 | | |
| | | Lesson.10 | 助動詞 | | 助動詞 | | |
| 3 学 期 | 学 年 末 | Lesson.11 | 関係代名詞・関係副詞 | | 関係代名詞・関係副詞 | | |
| | | Lesson.12 | 名詞構文 | | 名詞構文 | | |
| | | | | 1年間のまとめ | | | |

2025年度 シラバス

| 対象 | 教科 | 科目名 | 単位 | 担当者 |
|---------------|--|----------------------------------|-------------------------------|--|
| 2年生 特進コースSクラス | 外国語 | 論理・表現Ⅱ | 必修 2単位 | 関 京太, 黒澤 斉 |
| 教科書 | 啓林館 「Vision Quest English Logic and Expression II Ace」 | | 副教材等 | 旺文社 「英単語ターゲット1400 5訂版」 いいずな 「英文法・語法 Engage 3rd Edition」 |
| 授業のねらい | ① 教科書の英文の暗記に終始せず、多彩な英文を作る語彙力と表現力を身に着ける。 ② 実際に使われる場面をイメージし、論理的に英文を組み立てる力を身に着ける。 ③ 授業内のペアワークや音源を用いた復習を通じて、英文の音読を習慣化する。 | | | |
| 学習上の留意点 | ① 1年次までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には全力で取り組むこと。 ② 英文をただ「見る」だけで終えず、「声に出し」「手を動かし」ながら、学習に励むこと。 ③ 遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、その「埋め合わせ」を必ず行うこと。 | | | |
| 評価方法 | 定期考査、授業内の小テスト、学期末のノートチェック、授業態度などで総合的に評価する。 | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | 学習目標 | |
| 1 学 期 | 期 末 | Lesson1. Future Goals | ・文同士のつなぎ方を学び、自分の将来の夢について書く。 | |
| | | Lesson2. School Life | ・考えを順序立てて述べ、好きな学校行事を紹介する。 | |
| | | ※上記の他に前年度の復習を行う。 | ※ 中間考査に代わる小テスト・課題を実施予定。 | |
| | | Lesson3. Sports | ・例示をしながら、好きなスポーツ選手について書く。 | |
| | | Lesson4. Information Age | ・ソーシャルメディアの利点と欠点を比較し、議論する。 | |
| 2 学 期 | 中 間 | Lesson5. Environmental Issues | ・因果を述べながら、エネルギー利用について書く。 | |
| | | Lesson6. Cultures | ・根拠を引きながら、ある国とその文化について書く。 | |
| | 期 末 | Lesson7. Language Education | ・公用語についての記事を理解し、それを要約する。 | |
| | | Lesson8. Society | ・日本文化についてのプレゼンテーションを要約する。 | |
| | | Lesson9. Wishes | ・説明を加えながら、自分が想像する場面を発表する。 | |
| 3 学 期 | 学 年 末 | Lesson10. Science and Technology | ・AIと共存するために必要なことを、データを示し発表する。 | |
| | | Lesson11. Health | ・睡眠時間についてのディベートで、自分の意見を述べる。 | |
| | | Lesson12. Business | ・チョコレート売る際に重要な視点について議論する。 | |

2025年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|---------------------------------------|--|---|--------|--|-----|------------------------------|
| 2年生 進学コースAクラス | | 外国語 | 論理・表現Ⅱ | 必修 | 2単位 | 高坂 直美, 手塚 政世 山田 祐加, 塩田 志保 |
| 教科書 | 啓林館 「Vision Quest English Logic and Expression II Hope」 | | 副教材等 | 啓林館 「Vision Quest English Expression II Hope New workbook」 | | |
| 授業のねらい | 英語表現は語彙力と文法力の2つがバランス良く発達することが必要となる。2つの力を向上させ、そしてその力を運用する力を養うことを目指し、様々な表現力の習得を目指す。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | 英語でコミュニケーションをとることへの関心・意欲を高め、身近なことを話題として表現し適切にまとめる。言語の運用の基礎知識を身につけると共に文化的背景の理解にも努める。 | | | | | |
| 評価方法 | 日頃の授業態度、出欠席、小テスト、課題・提出物、中間・期末ごとに実施する筆記試験で評価する。 | | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 期末 | Part 1 Lesson 1 「伝統行事がいくつもあるのね。」 ※上記の他に前年度の復習を行う。 | | 主語の決定／見えない主語の発見／主語のit 主語になる名詞句／形式主語／無生物主語 | | |
| | | Lesson 2 「職業体験はどうだった？」 | | 自動詞と他動詞／SVO／SVOO／SVC／SVOC | | |
| 2 学 期 | 中間 | Lesson 3 「話したいことがあるんだ。」 | | 使役動詞／知覚動詞／〈動詞＋O＋to do〉 | | |
| | 期末 | Lesson 4 「航空管制官として働きたいんだ。」 | | 時制:「～する」／「～している」／「～した」／「～していた」 (現在形から完了形まで) | | |
| Lesson 5 「そんな経験をもう一度したいわ。」 | | 義務・必要を表す助動詞／推量を表す助動詞 「もし(今)～ならば」／「もし(あの時)～だったなら」 | | | | |
| Lesson 6 「これはカナダのバンクーバーで撮った写真なんだ。」 | | 名詞を前から修飾する語句 名詞を後ろから修飾する関係代名詞 / 関係副詞 | | | | |
| 3 学 期 | 学年末 | Lesson 7 「携帯電話は私たちの生活になくてはならないもの？」 | | 副詞・副詞句／不定詞や分詞を使った副詞句・副詞節 | | |
| | | Lesson 8 「犬と猫どっちが好き？」 | | 原級／比較級／最上級／最上級を意味する表現 | | |

2025年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|---------------|--|---------------|-------------------|-------------|-----|---|
| 2年生 特進コースIクラス | | 外国語 | higashino special | 必修 | 2単位 | Virginia Cordero Manoba Sasser Jeremy, Jessica Allen |
| 教科書 | 東野オリジナル教科書 | | 副教材等 | 補助プリント等 | | |
| 授業のねらい | 「Speaking力の基礎トレ」に位置付けられ、授業内で登場した文章がスラスラ言えるようにする | | | | | |
| 学習上の留意点 | 日本語と英語の発音の違いを理解し、意識してトレーニングに努めること | | | | | |
| 評価方法 | 授業態度や、発表など、総合的に評価をする | | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 中間 | Lesson.11 | | 現在完了(2) | | |
| | | Lesson.12 | | 現在完了(3) | | |
| | | Lesson.13 | | 形容詞と副詞 | | |
| | | Review | | Lesson11~13 | | |
| | 期末 | Lesson.14 | | 比較(1) | | |
| | | Lesson.15 | | 比較(2) | | |
| Lesson.16 | | 比較(3) | | | | |
| Review | | Lesson14~16 | | | | |
| 2 学 期 | 中間 | Lesson.17 | | 数の表現 | | |
| | | Lesson.18 | | 不定詞(1)と動名詞 | | |
| | | Lesson.19 | | 不定詞(2) | | |
| | | Review | | Lesson17~19 | | |
| | 期末 | Lesson.20 | | 分詞(1) | | |
| | | Lesson.21 | | 分詞(2) | | |
| Lesson.22 | | 助動詞 | | | | |
| Review | | Lesson20~22 | | | | |
| 3 学 期 | 学年末 | Lesson.23 | | 過去完了と未来完了 | | |
| | | Lesson.24 | | 関係詞(1) | | |
| | | Lesson.25 | | 関係詞(2) | | |
| | | Review | | Lesson23~25 | | |
| | | Lesson.26 | | 副詞節 | | |
| | | Lesson.27 | | itの表現 | | |

2025年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|---------------|--|--|-------|--|-----|------|
| 2年生 特進コースIクラス | | 外国語 | 多文化理解 | 必修 | 1単位 | 松浦 隆 |
| 教科書 | 学事出版 「地球村への10のステップ ワークノート」 | | 副教材等 | | | |
| 授業のねらい | 1. 世界空間と5,000年の時間軸といった世界を理解する「土台」を体感する。 2. 世界の多様な価値観を大枠で理解する。 3. 戦争や破壊の無い世界をつくるために自分たちで新しい世界作りを考える。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | 日頃から国内外の出来事に興味・関心を持ち、マスメディアやインターネット、書籍などを通じて情報収集をする習慣をつける。自分なりにすべてのことに対して何らかの見解(ポジション)を持つようにし、それを人に説明できるようにしておく。 | | | | | |
| 評価方法 | 各学期末に、筆記試験またはスピーチ、プレゼンテーションを実施する。 内容、提出物、日頃のクラスへの貢献度などで総合的に評価する。 | | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 中間 | 導入 | | コースの概要を理解し、学習目的を確認する。 | | |
| | | No.1 グローバル時代を生きる No.2 地球の大きさを測った男 考査 | | 現在の日本と日本を取り巻く世界情勢の正しい理解 古代ギリシャ時代の知の探究と現代日本との比較 ひらめきを生むプロセスについて考察する。 | | |
| | 期末 | No.3 文化が違えばルールも違う 考査 | | 世界を4つの文化コードに分類し、それぞれの特徴や異文化圏の人々との対処法を学ぶ。 | | |
| 2 学 期 | 中間 | No.4 絹の道、じゃんけんの道 文化祭 考査 | | 人類70億人の価値体系の基盤である、東洋思想 や世界宗教などがシルクロードを通じてどのように広まったかを知る。そこからグローバル化の歴史や多文化理解のヒントを探る | | |
| | | No.4 絹の道、じゃんけんの道 | | | | |
| | 期末 | No.5 悲劇と偉大な仕事の分かれ道 考査 | | 戦争の歴史を概観し、歴史認識の違いや人種差別問題を考える。又、アンネの日記学習を素材として、記録(ログ)をつけることの重要性を学び、ポートフォリオ指導への橋渡しをする。 | | |
| 3 学 期 | 学年末 | No.6 スピーチ・ライティング / | | スピーチの題材、原稿作成等の効果的な方法を学ぶ。 自分が選んだテーマにつき、スピーチを行う | | |
| | | No.7 地球村の新しいルールを作ろう 期末考査 | | 世界平和を実現するため過去の偉大なルールを検証し、こからの時代にふさわしい人類共通ルールを自分たちで考える。 | | |

2025年度 シラバス

| 対象 | 教科 | 科目名 | 単位 | 担当者 |
|---------------|--|---|--|--|
| 3年生 特進コースIクラス | 外国語 | 英語コミュニケーションⅢ | 必修 4単位 | 宮澤 一輔, Michael Noah Tuttle, Sasser Jeremy Virginia Cordero Manoba |
| 教科書 | 増進堂「FLEX English CommunicationⅢ」 | | 副教材等 | いづな「英文法・語法 Vintage 4th Edition」 |
| 授業のねらい | ①大学受験に向けた単語や熟語と文法および応用的な英文の構造を学習する。 ②細かく構造分析をしなくても英文が読み進められるようになる。 ③全文を読んだ後、文章全体の流れや要旨を英語で説明できるようにする。 | | | |
| 学習上の留意点 | ①復習を大事にすること。授業後に復習しないと英語は伸びません。 ②多読の際はスラッシュリーディングを意識し、返り読みをしないようにする。 ③日本語を介さず、英語の質問に対して英語で答えるようにする。 | | | |
| 評価方法 | 定期試験、授業内で行う小テスト、授業態度を総合的に評価する。 | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | 学習目標 | |
| 1 学 期 | 中間 | Lesson1 Mr. Price Meets Jakuchū Lesson2 Cleaning the Oceans: One Young Man's Dream | 倒置と不定詞の意味上の主語 分詞構文と仮定法 | |
| | 期末 | Lesson3 The Value of Practice: Ten Thousand Hours to Mastery Lesson4 In Defense of Zoos | 過去完了や省略 前置詞＋関係代名詞, 部分否定・全否定 | |
| 2 学 期 | 期末 | Lesson5 Facing Your Marshmallow Problem Lesson6 Eco-friendly Farming of Bluefin Tuna | 関係代名詞whatと名詞構文 強調構文, 句や節を先行詞とするwhichの表現 | |
| | | Lesson7 Lessons from History of Easter Island Lesson8 Life Without Magic | 関係副詞, 助動詞＋have＋過去分詞の表現 不定詞の結果用法, 関係副詞の非制限用法 | |
| 3 学 期 | | | | |

2025年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | 担当者 |
|---------------|---|--|---|---|---------------------|
| 3年生 特進コースSクラス | | 外国語 | 英語コミュニケーションⅢ | 必修 4単位 | 神林 慶, Sasser Jeremy |
| 教科書 | 数研出版「BLUE MARBLE English CommunicationⅢ」 | | 副教材等 | 旺文社「英単語ターゲット1400 5訂版」 いいずな「英文法・語法 Engage 3rd Edition」 旺文社「英単語ターゲットR 1900レベル改訂版」 | |
| 授業のねらい | ① 一般選抜(共通テスト・個別入試)を見据え、読解の精度・経験値を高め、背景知識を深める。 ② 様々なテーマの英文に触れ、長さのある入試問題に適應する力を身に着ける。(量の訓練) ③ 一度扱った英文の音読を徹底し、語彙力・文法力・構文力を高める。(質の訓練) | | | | |
| 学習上の留意点 | ① 2年次までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には、全力で取り組むこと。 ② 一般選抜(共通テスト・個別入試)を突破するのに必要な「視点」「考え方」を毎回学習していくため、遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、「穴を埋める」努力を必ずすること。 | | | | |
| 評価方法 | 定期考査、授業内の小テスト、学期末のノートチェック、授業態度などで総合的に評価する。 | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 中間 | Lesson 1【国際・人権】 A Chance for Everyone to Shine Lesson 2【脳科学・心理】 Protecting Our Brains from Smartphones | 国籍やジェンダー、年齢に関わらず、誰もが輝くことができる社会について考える。 スマートフォンの使いすぎから脳過労にいたる過程について学び、それを防ぐためにはどのような方法があるか、スマートフォンとの付き合い方について考える。 | | |
| | 期末 | Lesson 3【文化・環境】 Wrapping: Reinventing a Cultural Tradition Lesson 4【社会・福祉】 Paving the Way to a More Inclusive Society | 日本の「包む」文化の問題点と、その解決策について考える。 点字ブロックの開発にいたった経緯と、その普及に際しての苦勞、最新の点字ブロックについて学び、これからの社会での役割について考える。 | | |
| 2 学 期 | 期末 | Lesson 5【自己啓発・芸術】 Discovering Your Answers Through Art Thinking Lesson 6【生物・科学】 Super Sniffers Saving the World | 現代の複雑化する社会で、近年注目を集める、創造的な観点から問題を考える「アート思考」の重要性について考える。 行方不明者の捜索や病気の発見、地雷探知など、動物の嗅覚が人間の暮らしにもたらす恩恵について学ぶ。 | | |
| | | Lesson 7【異文化・国際】 Perceptions of Time in Different Cultures Lesson 8【環境・自然】 The Thawing Permafrost: Earth's Warning Call | 文化による時間感覚の違いと、異文化圏の人々との交流において、衝突を最小限にする方法を学ぶ。 北極圏の凍った土壌層・永久凍土が、地球温暖化によって溶けること(融解)によって起こりうる、さまざまな悪影響について学ぶ。 | | |
| 3 学 期 | | | | | |

2025年度 シラバス

| 対象 | 教科 | 科目名 | 単位 | 担当者 |
|---------------|--|---|--|---|
| 3年生 進学コースAクラス | 外国語 | 英語コミュニケーションⅢ | 必修 4単位 | 松浦 隆, 井上 直美, 神林 慶 黒澤 斉, Sasser Jeremy Michael Noah Tuttle |
| 教科書 | 開隆堂 「APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATIONⅢ」 | | 副教材等 | 開隆堂「APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATIONⅢワークブック」 |
| 授業のねらい | ①新出単語を中心に語彙を増やし英文の構造を理解する。 ②できるだけ前から読み下し内容を理解できるようにする。 ③文章の流れや要旨を英語で説明できるようにする。 | | | |
| 学習上の留意点 | ①音読を中心とした復習の習慣を身につけること。 ②取り組むべき課題、宿題などは必ず期限内に取り組み提出すること。 ③各自で課題を見つけ、積極的に取り組むこと。 | | | |
| 評価方法 | 定期試験、及び日常の小テストを総合的に加味して評価をする。また、ネイティブ教員によるオーラルコミュニケーションの授業での取り組み、提出物、テストなども加味して総合的に評価する。 | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | 学習目標 | |
| 1 学 期 | 中間 | Lesson 1 Take a Walk in Paris | should,mightなどの助動詞の使い方に注意し、英文を正しく読む事を通じて内容の理解を深める。 | |
| | | Lesson 2 Coffee Is Still Mysterious | 間接話法の表現方法に注意し、英文を正しく読む事を通じて内容の理解を深める。 | |
| | 期末 | Lesson 3 Why Do We Go to the Library? | 不定詞の様々な使い方を理解し、英文を正しく読む事を通じて内容の理解を深める。 | |
| | | Lesson 4 The Special Relationship between Juno and Lucas | 様々な関係詞の使い方を理解し、英文を正しく読む事を通じて、内容の理解を深める。 | |
| 2 学 期 | 期末 | Lesson 5 The Best Baker in the World | 分詞の様々な使い方を理解し、英文を正しく読む事を通じて内容の理解を深める。 | |
| | | Lesson 6 Fujita Tsuguharu:The Man Loved throughout the World | 仮定法の様々な使い方を理解し、英文を正しく読む事を通じて内容の理解を深める。 | |
| | | Lesson 7 The 2048 Problem | 様々な副詞節を理解し、英文を正しく読む事を通じて、内容の理解を深める。 | |
| | | Lesson 8 Be free, or Die! | 様々な否定語、否定表現を理解し、英文を正しく読む事を通じ、内容の理解を深める。 | |
| 3 学 期 | | | | |

2025年度 シラバス

| 対象 | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|---------------|--|--|---|------------------|-------|
| 3年生 特進コースIクラス | 外国語 | 論理・表現Ⅲ | 必修 | 2単位 | 宮澤 一輔 |
| 教科書 | 増進堂 「MAINSTREAM English Logic and ExpressionⅢ」 | | 副教材等 | 必要に応じてプリントを配布する。 | |
| 授業のねらい | ①大学受験に対応しうる文法知識を身に着ける ②記述問題に対応しうる表現力をつける | | | | |
| 学習上の留意点 | 自分で運用するには「即座に」単語や文法のルールが書けたり言えたりしなくてはならない。 この即座にという言葉キーワードに授業内の様々なトレーニングを主体的に取り組んで欲しい。 | | | | |
| 評価方法 | 定期試験、授業内で行う小テスト、授業態度を総合的に評価する。 | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 中間 | lesson.1 lesson.2 lesson.3 lesson.4 | 「日本文化の再発見」をテーマに、複数の資料を活用しながら、自分の力で、スピーチ原稿を作成し発表できる。 「過去、現在、そして未来のデジタル・コミュニケーション」をテーマに、複数の資料を活用しながら、自分の力で、プレゼンテーション原稿を作成し発表できる。 | | |
| | 期末 | lesson.5 lesson.6 lesson.7 lesson.8 | | | |
| 2 学 期 | 期末 | lesson.9 lesson.10 lesson.11 lesson.12 | 「SDGsを達成するために2030年までに何ができるか」をテーマに、複数の資料を活用しながら、自分の力で、エッセイを書くことができる。 「デジタル教科書は紙の教科書よりもよいか」をテーマに、複数の資料を活用しながら、自分の力で、ディベートができる。 | | |
| | | lesson.13 lesson.14 lesson.15 lesson.16 | | | |
| 3 学 期 | | | | | |

2025年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|---------------|---|---|--------|---|-----|------|
| 3年生 特進コースSクラス | | 外国語 | 論理・表現Ⅲ | 必修 | 2単位 | 神林 慶 |
| 教科書 | 啓林館 「Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ」 | | 副教材等 | 旺文社 「英単語ターゲット1400 5訂版」 いいずな 「英文法・語法 Engage 3rd Edition」 旺文社 「基礎英作文問題精講 3訂版」 | | |
| 授業のねらい | ① 英検2級取得および、一般選抜(共通テスト・個別入試)を見据え、構文力・作文力を高める。 ② 様々なテーマの英文に触れ、「伝えたいことをどう伝えるべきか」を学ぶ。(インプット) ③ 習得した知識を踏まえ、英作文問題・リスニング問題に対応する力をつける。(アウトプット) | | | | | |
| 学習上の留意点 | ① 2年次までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には、全力で取り組むこと。 ② 一般選抜(共通テスト・個別入試)を突破するのに必要な「視点」「考え方」を毎回学習していくため、遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、「穴を埋める」努力を必ずすること。 | | | | | |
| 評価方法 | 定期考査、授業内の小テスト、学期末のノートチェック、授業態度などで総合的に評価する。 | | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 中間 | Lesson1／Lesson2 【学習・言語】 Lesson3／Lesson4 【心理】 | | ・助言や譲歩の表現を用いて、プレゼンテーションをする。 ・関係性や判断の根拠を示して、レポートを書く。 | | |
| | 期末 | Lesson5／Lesson6 【健康】 Lesson7／Lesson8 【異文化】 | | ・利点や結果を示しながら、パラグラフを書く。 ・影響や他との差異に触れながら、レポートを書く。 | | |
| 2 学 期 | 期末 | Lesson9／Lesson10 【情報化社会】 | | ・利点と欠点を対比し、理由を示して、コメントを書く。 | | |
| | | Lesson11／Lesson12 【社会構成】 | | ・社会の多様化について、対比をしながら意見を述べる。 | | |
| | | Lesson13／Lesson14 【経済】 | | ・電子決済や所得格差について、意見を述べる。 | | |
| | | Lesson15／Lesson16 【環境問題】 | | ・環境問題の原因と解決策について、発表する。 | | |
| 3 学 期 | | | | | | |

2025年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|---------------|--|--|--------|--|-----|---------------------|
| 3年生 進学コースAクラス | | 外国語 | 論理・表現Ⅲ | 必修 | 2単位 | 星 雅之, 神林 慶 塩田 志保 |
| 教科書 | 啓林館「Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ」 | | 副教材等 | 啓林館「Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ サブノート」 | | |
| 授業のねらい | 語彙力と文法力の2つがバランス良く発達することが必要となる。2つの力を向上させ、そしてその力を運用する力を養うことを目指し、様々な表現力の習得を目指す。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | 英語でコミュニケーションをとることへの関心・意欲を高め、身近なことを話題として表現し適切にまとめる。言語の運用の基礎知識を身につけると共に文化的背景の理解にも努める。 | | | | | |
| 評価方法 | 日頃の授業態度、出欠席、小テスト、課題・提出物、中間・期末ごとに実施する筆記試験等で評価する。 | | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 中間 | Lesson1 Friendship and improvement | | 「助言」をテーマに、相談メールに散りばめられている表現を学んでいく。 | | |
| | | Lesson2 Which is better, a paper or an electronic dictionary? | | 「譲歩」をテーマに商品説明を通して様々な表現を学んでいく。 | | |
| | 期末 | Lesson3 | | 「関係」をテーマに、新聞のコラムを通じて様々な表現を学んでいく。 | | |
| | | Lesson4 Can you change your personality? How do we make decisions? | | 「判断の根拠」をテーマに、講義形式の文を読み、様々な表現を学んでいく。 | | |
| 2 学 期 | 期末 | Lesson5 Online doctor consultations | | 「代替」をテーマに、よくウェブサイトに出てくる表現を学んでいく。 | | |
| | | Lesson6 Healthy lifestyle | | 「結果」をテーマに、友人との会話の中で使われる表現を学んでいく。 | | |
| | | Lesson7 What do you do after school? | | 「物事への正負の影響」をテーマに、メール文面がよく使われる表現を学んでいく。 | | |
| | | Lesson8 Direct and indirect ways of communication | | 「差異」をテーマに、オンライン講義を通してよく使われる表現を学んでいく。 | | |
| 3 学 期 | | | | | | |

2025年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|--------------|--|--|------|--|-----|-------|
| 3年生 特進コースクラス | | 外国語 | 英語演習 | 必修 | 3単位 | 宮澤 一輔 |
| 教科書 | 自主教材 | | 副教材等 | 必要に応じてプリントを配布する。 | | |
| 授業のねらい | ① 共通テストの長文に対応しうる速読力を身に着ける。 ② CEFR B1レベルの語彙を確実に身に着ける。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | ① 読解中で分からなかった語彙・文法はその都度復習し定着させること。 ② 精読は意識せず、要点を掴みながら読む多読を意識すること。 | | | | | |
| 評価方法 | 学期末の評価テスト・授業態度で評価する。 | | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 中間 | 英文多読演習 ① 問題ごとの特徴把握 ② 修飾関係の読み取り 英検対策 | | ① データ・旅行日程の読み取りなど問題の特徴を把握し注意して読むべきポイントを整理する。 ② 文の骨格(SV)の把握を正しくできるようになる。 英検対策として、「速読」演習を授業冒頭に取り入れる。 | | |
| | 期末 | 読解問題演習(記述式) 読解問題演習(マーク式) | | 6月下旬に受験する進研記述模試に向けて、 ① 答えの探し方(どの表現をヒントにするか)を確認する。 ② 答えのまとめ方(字数による視点の違い)を習得する。 河合マーク模試や夏休みの学習に向けて、 ① 答えの探し方と選択肢の選び方を習得する。 ② 「記述式よりマーク式の方が簡単」という認識を改める。 | | |
| 2 学 期 | 中間 | 過去問演習(資料読解など) 過去問演習(内容説明問題など) | | 共通テスト・私大一般 | | |
| | 期末 | 過去問演習(文法問題) 過去問演習(選択・記述問題) | | 共通テスト・私大一般 | | |
| 3 学 期 | | | | | | |

2025年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|-----------------|---|----------------|------|---|-----|------|
| 3年生 特進コースSクラス文系 | | 外国語 | 英語演習 | 必修 | 2単位 | 神林 慶 |
| 教科書 | なし | | 副教材等 | 旺文社「英単語ターゲット1400 5訂版」 いいずな「英文法・語法 Engage 3rd Edition」 旺文社「英単語ターゲットR 1900レベル改訂版」 | | |
| 授業のねらい | ① 個別入試過去問の演習(主に長文読解)を通じ、解答力・得点力を高める。 ② 自身の弱点(語彙・文法・構文等)を把握し、自らその補強に取り組む姿勢を身に着ける。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | ① 2年次までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には、全力で取り組むこと。 ② 一般選抜(共通テスト・個別入試)を突破するのに必要な「視点」「考え方」を毎回学習していくため、遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、「穴を埋める」努力を必ずすること。 | | | | | |
| 評価方法 | 定期考査に準ずる授業内テスト、学期末のノートチェック、授業態度などで総合的に評価する。 | | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 中間 | 実力チェックテスト | | 一般選抜突破に向けて、現在の実力を把握する。 | | |
| | 期末 | 私大・国公立大二次対策 演習 | | 入試過去問の演習を通じて、解答力・得点力を高める。 | | |
| 2 学 期 | 中間 | | | | | |
| | 期末 | | | | | |
| 3 学 期 | | | | | | |

2025年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|---------------|--|--------------|-------------------|-----------------|-----|--------------------------------------|
| 3年生 特進コースIクラス | | 外国語 | higashino special | 必修 | 2単位 | Michael Noah Tuttle Jessica Allen |
| 教科書 | 東野オリジナル教科書 | | 副教材等 | 補助プリント等 | | |
| 授業のねらい | 「Speaking力の基礎トレ」に位置付けられ、授業内で登場した文章がスラスラ言えるようにする。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | 日本語と英語の発音の違いを理解し、意識してトレーニングに努めること。 | | | | | |
| 評価方法 | 授業態度や、発表など、総合的に評価をする。 | | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 中間 | Lesson.28 | | 名詞節 | | |
| | | Lesson.29 | | 仮定法(1) | | |
| Lesson.30 | | 仮定法(2) | | | | |
| Review | | Lesson28~30 | | | | |
| 2 学 期 | 期末 | Lesson.31 | | 仮定法現在 | | |
| | | Lesson.32 | | 代名詞 | | |
| | | Lesson.33 | | 否定 | | |
| | | Review | | Lesson31~33 | | |
| 3 学 期 | 中間 | Lesson.34 | | 強調 | | |
| | | Lesson.35 | | 語順 | | |
| | | Lesson.36 | | さまざまな日常表現(1) | | |
| | | Review | | Lesson34~36 | | |
| 4 学 期 | 期末 | Lesson.37 | | さまざまな日常表現(2) | | |
| | | Lesson.38 | | さまざまな日常表現(3) | | |
| | | Lesson.39.40 | | さまざまな日常表現(4)(5) | | |
| | | Review | | Lesson37~40 | | |
| 5 学 期 | | | | | | |

2025年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|---------------|--|------------------------------|------|---|-----|------|
| 3年生 特進コースIクラス | | 外国語 | 時事英語 | 必修 | 1単位 | 松浦 隆 |
| 教科書 | 自主教材(英字新聞などのコピーを使用予定) | | 副教材等 | 必要に応じてプリントを配布する。 | | |
| 授業のねらい | 英字新聞などの資料に慣れ親しみ、それらの読解のノウハウの習得を目指す。また、現在の社会で起こっている様々なことに興味・関心を持ったうえで、メディア・リテラシーを身に付ける。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | 日本語の背景知識および基本的な政治・経済、歴史の知識の増強も同時に各人で進めること。また、家庭学習において音読、リスニング、問題演習などの予習・復習は必須となる。 | | | | | |
| 評価方法 | 授業内テストを期末に1回(または学期に2回)実施する。また、提出物や授業への取り組みも平常点として加味する。 | | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 中間 | 英字新聞の特徴について 健康 文化 / 考査 | | 英字新聞特有の表記方法などについて解説する。 Headline、Lead、Body(本文)などの構成および読解の際の注意点などについて学ぶ。 テーマに沿った語彙習得と背景知識獲得 ニュースソース(情報源)について学ぶ | | |
| | 期末 | 科学技術 医療 観光 考査 | | テーマに沿った語彙習得と背景知識獲得 世界的な医薬品不足など最新の医療事情について知る インバウンドや観光立国としての戦略について学ぶ | | |
| 2 学 期 | 中間 | 交通 経済 宇宙 スポーツ / 考査 | | テーマに沿った語彙習得と背景知識獲得 基本的な経済の仕組みやマネーの知識を学ぶ 宇宙開発の最先端事情について学ぶ | | |
| | 期末 | 政治 歴史Ⅰ 歴史Ⅱ 考査 | | テーマに沿った語彙習得と背景知識獲得 米中対立とその影響等について学ぶ 自分たちのルールを知る大切さについて学ぶ | | |
| 3 学 期 | | | | | | |

2025年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|---------------|--|------------------------------|---------|---|-----|------|
| 3年生 進学コースAクラス | | 外国語 | 学び直しの英語 | 選択 | 2単位 | 星 雅之 |
| 教科書 | 自主教材 | | 副教材等 | 自主教材 | | |
| 授業のねらい | 中学校および高校で学習した基本的な文法を復習し、英文の基本的構造を理解する。比較的平易な英文を遠し、基礎的な読解力・表現力を養う。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | 辞書を必ず持ってくること。予習・復習も必ず行い、毎週の課題を必ず提出すること。 | | | | | |
| 評価方法 | 日頃の授業態度、出欠席、小テスト、課題・提出物、各学期ごとに複数回実施する筆記試験で評価する。 | | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 中間 | オリエンテーション 英語の基本ルール 5文型 | | 英語の基本学習作法について学ぶ 中学校英語の総復習 基本5文型について学ぶ (自・他動詞、目的語、補語など) | | |
| | 期末 | 時制 態・助動詞 | | 現在・過去・未来・完了・進行形について学ぶ 能動態と受動態、助動詞の用法について学ぶ | | |
| 2 学 期 | 中間 | 不定詞・動名詞 分詞・仮定法 | | 不定詞と動名詞の用法について学ぶ 現在分詞・過去分詞および仮定法について学ぶ | | |
| | 期末 | 比較・関係詞 接続詞・その他 | | 比較の原級・比較級・最上級 および関係詞の用法について学ぶ 名詞および副詞のかたまりをつくる接続詞について学ぶ | | |
| 3 学 期 | | | | | | |

2025年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|---------------|--|---|--------|--|-----|-------|
| 3年生 進学コースAクラス | | 外国語 | 英語入試対策 | 選択 | 2単位 | 井上 直美 |
| 教科書 | 入試英文の問題集など | | 副教材等 | 必要に応じてプリントを配布する。 | | |
| 授業のねらい | 入試対策全般 | | | | | |
| 学習上の留意点 | 読解力や文法力を含め、総合力を4技能バランスよく力をつける。 | | | | | |
| 評価方法 | 小テスト、授業内の取り組み(プリント) | | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 中間 | 英検2級の問題を扱い、英検の対策を行う。 時制・助動詞・受動態・動名詞 不定詞など | | 総合力をつけるためにプリントによる訓練を行う。 多量即解などの訓練 様々な問題に取り組んで、慣れさせる。 | | |
| | 期末 | 仮定法・話法・分詞など イディオムの特訓 語彙力をつける。 | | 様々な問題に取り組んで、慣れさせる。 表現練習 英検のライティングに挑戦。 | | |
| 2 学 期 | 中間 | 個々の入試問題に挑戦させる。 帝京大学の入試問題 様々な大学の過去問題で演習。 | | 演習を繰り返し、問題に慣れる。 | | |
| | 期末 | 個々の入試問題に挑戦させる。 様々な大学の過去問題で演習。 | | 演習を繰り返し、問題に慣れる。 | | |
| 3 学 期 | | | | | | |